部落内回覧を
お願いします。

神産第４２８号
令和３年１１月１５日

神山町長 後藤正和

ニホンザル群生態状況調査について（お願い）

日頃は町産業行政にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ニホンザルによる農作物被害軽減に向けて徳島県事業を活用して群れの調査を下記の内容で行います。

期間中、調査会社のスタッフが町内を巡回し町民の皆様にお話を聞かせていただくこともございますが、ご理解ご協力賜りますようお願いします。

・実施主体：徳島県 農林水産部 鳥獣対策・ふるさと創造課
・事業受託者：株式会社 野生動物保護管理事務所
・目　　的：聞き取り調査によるニホンザルの出没・被害状況の把握
・期　　間：令和３年１１月下旬 ～ １２月上旬を予定しております。
・場　　所：神山町内全域
・内　　容

期間中、専門の調査員が町内を巡回し、皆さまからニホンザルの出没や被害に関する情報をお聞きします。その情報で群れの行動域や被害レベルを把握し、今後の捕獲活動に役立てます。

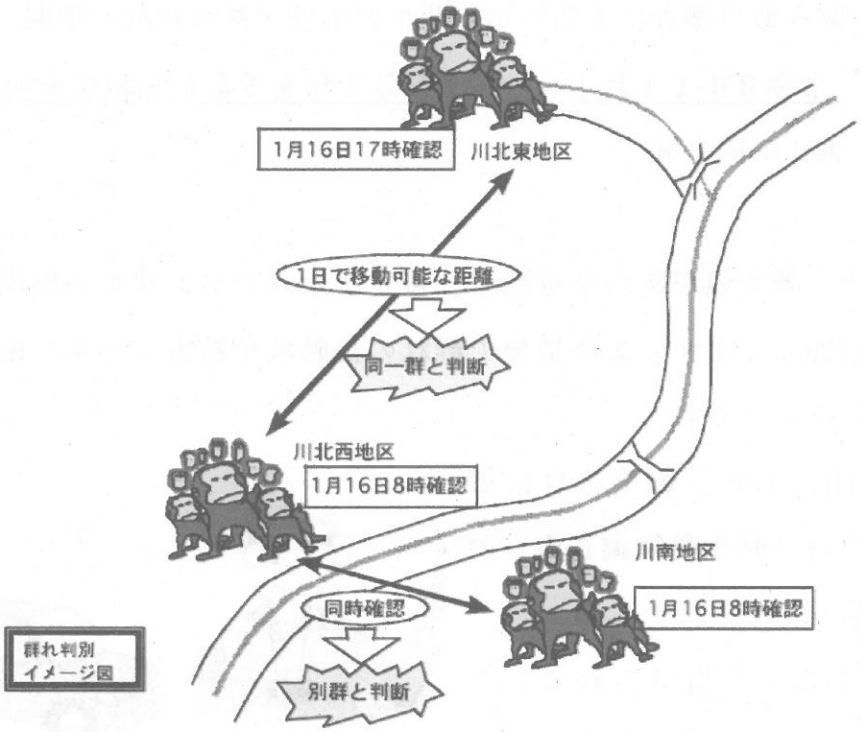
調査員は目印に名札と腕章を身に着け、調査車両には「野生動物調査中」のステッカーが貼ってあります。

もし調査員から声を掛けられましたらご協力よろしくお願いします。

お問い合わせは　産業観光課林業係　まで
電話０８８－６７６－１１１８　ＩＰ２００７

サルの習性について

ニホンザルは大人のメスを中心に子ザル達と群れを形成して行動しています。
子供のサルを見かけた場合、近くに群れの本隊がいます。
オスザルは子供の時は群れと一緒に行動しますが、大人になると群れから巣立ち群れの周りを数匹で行動します。（よく「はぐれのサル」と言われます。）

生息状況調査の概要について

調査員が町内を巡回し、出没するニホンザルについて聞き取りをさせて頂き、群れの数や個体数、被害の程度などを調査します。
お聞きする内容は、ニホンザルが出没した日時、場所、被害状況などで、皆様からお聞きした情報から、どこにどのような群れがいるかを明らかにします。また、被害状況や人馴れ状況などから群れごとの加害性（レベル）を推定します。
これらの情報を基に、今後どのような対策に取り組めば被害を軽減でき、適切にニホンザルの群れを管理することができるかを検討します。